

令和6年2月14日

自由民主党  
女性局長 高橋 はるみ  
女性局 役員 一同  
女性局 幹事会 一同

### 女性局ブロック会議を踏まえた申し入れ

女性局では、毎年秋から冬にかけて全国8カ所でブロック会議を開催し、女性党员との意見交換を行っている。昨年も女性の視点から多岐にわたる意見が挙げられ、主な要望として下記の点について、党本部各方面において前向きな取り組みを申し入れる。

#### 記

#### 【女性議員の育成、登用】

- ① 都道府県支部連合会において、女性候補者の擁立の必要性や女性議員への理解など、「女性議員の育成、登用に関する基本計画」の目標達成に向けた共通認識が十分に形成されていないため、同計画の周知徹底と意識改革を図ること。また、支援金の支給対象を新人女性衆議院支部長のみならず、参議院支部長へも支給対象の拡大を検討すること。
- ② 各級女性議員のさらなる活躍のため、研修会の開催や地方議員サイトの充実等による情報共有をするとともに、政治活動と家庭との両立ができるよう、環境整備や働き方改革を推進すること。また、新人地方議員を対象とした研修会は、岩手・宮城・福島各県の県議選などが東日本大震災の影響で統一地方選の約半年後に実施されたことから、その点を十分留意して開催すること。
- ③ 党運営や政策に女性の声をより一層反映させるために、女性局の地位向上に努め、全国の女性局長等を各都道府県連執行部や選対会議、候補者選定委員、政務調査会に加えることにより女性の役員登用を加速すること。

## 【女性局活動のさらなる推進】

- ④ 能登半島地震をはじめとした自然災害が各地で頻発しており、被害を最小限に抑え、災害に対応できる力を身につけるため、防災に関する情報共有や研修会等を実施するほか、被災地に寄り添う活動を継続して取り組んでいくための理解増進と後方支援を行うこと。
- ⑤ 地方における対話集会（いどばたキャラバン、ウーマノミクス会議等）や党本部との意見交換会を通じて、全国の声を政策に反映すること。
- ⑥ 女性局研修会は、見聞を広め、女性局の横の繋がりを強化するためにも重要な機会であり、令和5年の海外研修の過ちを繰り返さないようSNS勉強会の開催等を実施し、今後も継続すること。
- ⑦ 女性局宣伝カー「スマイル」は、ガラス張りで注目度が高く、広報活動に有効なため、引き続き運行を継続し、街頭活動に伴う助成金等の支援を検討すること。
- ⑧ 女性局は、女性を中心に党员獲得運動を展開しており家族党员が多いが、高齢化が進むにつれ夫に先立たれた妻が増えている。家族親党员が死亡した場合も引き続き家族党员の扱いで自民党を支えたい気持ちに応える対応策を講じること。

## 【党全体で取り組むべきこと】

- ⑨ 鳥取・島根、高知・徳島の参議院合区選挙区は、地方の声の切り捨てと見受けられ、さらに若者や女性の政治離れも引き起こすため、憲法改正をはじめ合区解消に向け、全力を傾注すること。
- ⑩ 国会議員は国民の代表であり、国民の信頼の上で女性局の活動が成り立つため、党所属国会議員の不祥事が起きないように綱紀粛正を徹底し、不祥事が起きた場合は、迅速かつ適切な対応をとること。

以上